

今年度も ホジロバ / スローライフで楽しく ROBA 活だー！

平成 21 年度総会 & 望月真一氏 講演会



● 2
4 ページ
関連記事

活動報告

5 月 21 日 福井市福井鉄道サポート団体協議会総会
22 日 I R E 研究発表
29 日 福井鉄道福武線サポート団体等協議会
6 月 2 日 I R E L R T 研究会
3 日 第 3 回 MW & C F D 実行委員会
14 日 福井鉄道と ROBA の懇談会
19 日 ROBA 例会
19 日 「えちぜん鉄道」株主総会

今後の予定

6 月 21 日 (日) 越前町 福鉄バスツアー
22 日 (月) MW & C F D 準備会
23 日 (火) 「福井鉄道」株主総会
26 日 (金) 第 4 回 MW & C F D 実行委員会
27 日 (土) 講演会
「福井のまちづくりを考える」(織協ビル)
7 月 5 日 (日)
シンポ「交通と環境」・公共交通進化論 (金沢)
17 日 (金) ROBA 例会

ゆうじんの部屋 書籍紹介

子どもの貧困 - 日本の不公平を考える

阿部彩 岩波新書 780 円 + 税

ISBN978-4-00-431157-7 C0236

経済の活力を維持するためには、働ける人に無償で財やサービスを給付することは避けないといけ
ないが、最低限の生活水準と競争の機会均等は確保しなければならない。国の政策は常にこのジレ
ンマとの戦いである。日本の反貧困政策は欧州の貧困政策に比較して救貧型、ばらまき型ともに不
十分で、高福祉の国の政策が必ずしも経済パフォーマンスが悪いわけではない。

こうした最近流行の論点を、特に競争条件の平等の観点から子供に関する政策に焦点を当てまと
めた本である。子供の福祉政策は、大多数が親が間に入るので、親にかすめとられず、子どもに競
争の基盤となる教育を与えていく政策の難しさを考えさせられる。

(財)国土技術研究センター調査第 3 部長 美濃部 雄人 Minobe Yujin

総会記念講演会 ― カーフリーデージャパン望月代表を招いて



(文：塚谷 康夫)

5月17日の日曜日、午前中のROBA総会が終わって昼食後、恒例の記念講演会が開かれました。今年のゲストは、カーフリーデージャパン代表の望月真一氏です。望月氏はアーバンデザインを専門としている建築家でフランスとかかわりが深く、フランスで始まったカーフリーデー運動を日本にも広く普及されるべく活発な活動を繰り広げられています。講演会のタイトルは「“モビリティウィーク&カーフリーデー”をどうまちづくりに展開するか～ヨーロッパの取組みと日本での実施状況～」で、以下その概要を伝えます。

1970年代から80年代のフランスは、現在の日本の地方都市と同じ様に郊外のスーパーマーケットなどが大規模化して、都市中心部の荒廃が進んでいました。当時はTDM(交通需要管理)の考え方が進んでおらず、まちなかに車があふれ、完全な「クルマ優先社会」でした。その反省から、1980年代後半頃から徐々に都市空間の利用の再配分が進められるようになっていきました。まちでの優先順位が「クルマ」から「人」に少しずつ変わっていったのです。

そういった空気の中、1997年の9月22日にフランスのラ・ロッシュェルという小さなまちから始まったのがカーフリーデーです。まちの中心エリアからクルマを丸一日締め出し、歩行者などが自由に街路を闊歩できるようにしたのです。この成功を受けて翌年フランスの複数の都市が参加をするようになり、さらにはフランス国内だけでなくヨーロッパへ世界へと、わずか10年程度の間には全世界の2,000を超える都市で実施される世界的な運動へと成長しました。また、当初は9月22日だけをカーフリーデーとしていましたが、実施期間を一週間に拡大して全世界共通のモビリティウィーク(9月16日～9月22日)とするに至っています。

さて、次は日本での実施状況と課題です。昨年度日本では7都市でカーフリーデー&モビリティウィークが行われました。わが福井市も一昨年、昨年(厳密に言えば、昨年は交通規制をしていないので、カーフリーデー実施基準を満たしていたわけではありません)と実施し、今年の秋にも実施する予定です。実施する都市の数から見ても分かるとおり、進んでいるヨーロッパでの状況に比べてまだまだ少ない状況です。また、行政が積極的に進めているところも少なく、横浜や福井のように民間(NPOや市民団体)主導となっているケースもあります。

日本での交通事故死亡者の約3分の1が歩行者で、この数字は欧米での数値(せいぜい1、2割)に比べて異常に高いものだそうです。日本でももっとカーフリーデー&モビリティウィークが普及して、歩行者が安全に安心して歩ける環境が整うことを願ってやみません。

私は、望月氏のお話をお聞きして「福井だって今に変わるはず！！変えたい！！」という思いがこみ上げるのを感じました。

郊外のスーパーマーケットやクルマ中心の都市構造など日本とフランスは似ているところも多くみられます。しかし、フランスでは地方分権化やクルマ優先社会の修正など、政策によって公共交通や自転車、歩行者のためのまちづくりが進んでいます。また、ヨーロッパだけではなく、ソウル市や台北市など近隣アジアの国々でも「クルマのない日」が実施されるなど、日本はクルマ優先社会の修正という点で遅れを取っているというお話でした。

2 時間に及ぶお話は、私にとって大変参考になるものでした。お話をお聞きして、確かに福井は遅れをとっているかもしれない。しかし、これからいくらでも、どんな風にでも良くすることができるはずだとワクワクする気持ちが湧いてきました。

私はまちを変えているのは政策の力だけではなく、そこに住んでいる住民やその地域を愛する人達の思いだと考えています。そんな思いが政策をつくり出していくのではないかと思います。福井には「ROBA」があります！私は、短期間で成果を求めるのではなく、時間をかけて福井のまちを良くしていければ良いのではないかと考えています。

私は現在、縁あって交通に携わる仕事をさせていただいています。仕事で学んだことを少しでも福井のまちを良くすることに活かせたらと考えています。これからも ROBA のみなさんと一緒に活動していこうと心新たにする 1 日でした。

新緑萌ゆる五月。先日 17 日（日曜日）に（特）ふくい路面電車とまちづくりの会の総会に参加出席致しました。会長からは一年に必ず来る人と言われ、言い換えれば、この時しか来ないんだね。と淋しい気持ちにさいなまれてます。

さて、会場にはいつものメンバーが参集しており、ひとりで勝手に、もう一年経ったのだと、ひとり感慨にふけておりました。相変わらず ROBA の活動事業報告には素晴らしいの一言に感動を覚えてしまうのは、私ひとりだけとは思いません。総会が一時休憩が入るハプニングもあり、終始白熱した会場の雰囲気が無事終了いたしました。新理事に塚谷さんが加わったことで又ひとつ ROBA の大きな成果が増えると思います。その満面の笑みが物語っていました。

そして、昼休みを挟んで午後からは望月氏記念講演で、可愛い白髭が印象的でした。昨今ノーマイカーデーやら、カーセーブデーやら、横文字が氾濫して意味不明が多いなか、今日の演題はモビリティウィークアンドカーフリーデーをどうまちづくりに展開するかです。またも私の頭の中は奇々怪々な言葉を理解しようと聴講していました。22 年前新婚旅行で見たフランスはぼろい車が前後の車をぶつけながら駐車していた風景も恐らく無く、町中は車が閉め出され、路面電車を核に、自転車と歩行者を優先的に溢れている光景を頭に巡らしては、奇々怪々な出来事が今日の私の頭脳を刺激してくれました。

特定非営利活動法人 ふくい路面電車とまちづくりの会
平成21年度 収支決算書(案)

平成21年4月1日より平成22年3月31日まで

H21.5.17の総会で、第4号議案が口頭で修正・承認となりました件です

収入の部 (単位 円)				支出の部 (単位 円)			
科 目	H20予算	H21予算	差額	科 目	H20予算	H21予算	差額
会費収入	190,000	190,000	0	管理費	450,000	370,000	80,000
年会費	190,000	190,000	0	通信運搬費	100,000	100,000	0
補助金・助成金	1,700,000	250,000	1,450,000	旅費交通費	50,000	50,000	0
(財) 地域環境研究所	50,000	50,000	0	会議費	50,000	10,000	40,000
その他	1,650,000	200,000	1,450,000	事務消耗品費	30,000	10,000	20,000
			0	備品消耗品費	10,000	10,000	0
寄付金	100,000	20,000	80,000	印刷製本費	70,000	50,000	20,000
その他	100,000	20,000	80,000	事務局費	10,000	10,000	0
			0	保険料	15,000	15,000	0
雑収入	2,000	1,117	883	租税公課	80,000	80,000	0
受取利息ほか	2,000	1,117	883	その他	35,000	35,000	0
事業収入	1,300,000	1,900,000	600,000	事業費	3,770,000	2,800,000	970,000
公共交通まちづくり事業	0	600,000	600,000	公共交通まちづくり事業	260,000	1,120,000	860,000
1-1 県内協働まちづくりイベント	0	600,000	600,000	1-1 県内協働まちづくりイベント	230,000	1,000,000	770,000
1-2 ホジロバまちづくりキャラバン	0	0	0	1-2 ホジロバまちづくりキャラバン	20,000	20,000	0
1-3 公共交通まちづくりのツール	0	0	0	1-3 公共交通まちづくりのツール	10,000	100,000	90,000
公共交通活性化事業	1,300,000	1,000,000	300,000	公共交通活性化事業	1,110,000	1,010,000	100,000
2-1 公共交通マップの作成	1,000,000	700,000	300,000	2-1 公共交通マップ	1,000,000	900,000	100,000
2-2 公共交通時刻表	300,000	300,000	0	2-2 公共交通時刻表	100,000	100,000	0
2-3 公共交通利便性向上	0	0	0	2-3 公共交通利便性向上	10,000	10,000	0
L R T 推進事業	0	300,000	300,000	L R T 推進事業	170,000	340,000	170,000
3-1 L R T 推進のための活動	0	0	0	3-1 L R T 推進のための活動	150,000	10,000	140,000
3-2 L R T 推進ツールの作成	0	0	0	3-2 L R T 推進ツールの作成	10,000	10,000	0
3-3 L R T 協働研究	0	300,000	300,000	3-3 L R T 協働研究	10,000	320,000	310,000
交流・連携事業	0	0	0	交流・連携事業	2,230,000	330,000	1,900,000
4-1 北陸地区の交通まちづくり交流	0	0	0	4-1 北陸地区の交通まちづくり交流	30,000	30,000	0
4-2 全国の交通まちづくり交流	0	0	0	4-2 全国の交通まちづくり交流	2,100,000	250,000	1,850,000
4-3 全国のまちづくり交流	0	0	0	4-3 全国のまちづくり交流	100,000	50,000	50,000
当期収入合計	3,292,000	2,361,117	930,883	当期支出合計	4,220,000	3,170,000	1,050,000
前年度繰越	1,758,846	1,228,883	529,963	予備費(次年度繰越)	830,846	420,000	410,846
収入合計	5,050,846	3,590,000	1,460,846	支出合計	5,050,846	3,590,000	1,460,846

平成21年度第一回地域交通コーディネーター会議報告書(作成者 三 輪 裕 一)

日 時 平成21年6月4日(木) 15:00~17:40

場 所 名古屋市中部運輸局11階共用会議室



●撮影/畑 みゆき

自動車交通部部長藤原威一郎氏の挨拶、出席者紹介の後。議事に入った。

■議事(1) 地域交通へのPDCAの導入について

コミバス事業評価の手引きの説明と紹介

コミバス運行におけるPDCAの意義、自治体実態調査の説明

【主な発言】

●名古屋産業大学 伊豆原浩二先生

公共交通の分野では、空白地域や交通貧困者の評価をどう得るか、特にC(チェック)→A(アクション)が問題となる。実際に適用するには難点もあろうが、柔軟に

●名古屋大学大学院 加藤博和先生

今回の法改正は公共交通の革命をもたらす。利用者のニーズとかけ離れた公共交通政策は破綻する。法律を使いこなせるかどうか、自治体の力量が問われている。その意味で、評価することに意義がある。評価の目的が分かっているれば明確化できる。

●豊田都市交通研究所主席研究員 山崎基浩氏 コミバスの実態と評価に関する調査発表要旨

- ・コミバス運行において、PDCAサイクルによる施策マネジメントを意識しているものの、具体的方策がわからない、という自治体が多数。
- ・多くの自治体は「利用者数」を評価の視点として捉えている。評価改善において、財政力の低い自治体ほど「やりにくさ」が伴っている。運行改善には複数視点の評価が必要。

●岐阜市管理監 青木保親氏

- ・PDCAの主体は行政になりがちだが、利用者主体にしなければならない。

- R O B A 高橋八州太郎氏
 - ・ N P O が地域交通協議会に参加して意見を述べた。越前市ではアンケートも実施している。ここでは行政が主体で住民参加という形になっている。
- 加藤博和先生
 - ・ 法定協議会・地域公共交通会議が運営者である。行政・住民・利用者だけでは不十分。
- 富士宮市主幹 高野裕章氏
 - ・ P D C A を開始した。よい評価がでたので予算を獲得できた。しかし、乗らなかったら減便もあると通告してある。増便しても一便当たりの乗客は増加している。住民に、「乗らなかったらなくなる。」という危機意識が生まれている。

■ 議事（２） 地域交通に関する取り組みについて

各地域の運営協議会の取り組み、バス事業者の取り組み

- 豊橋・岐阜（加納地区）・岡崎市下山地区・一宮市・名張市・松阪市・伊賀市それぞれの運営協議会からコミバスの現状と運営について報告・提言があった。いずれも熱意あふれるものでコミバスの将来を感じさせるものだった。現在は乗らない人たちが、将来はお世話になるからと、こころよく協賛金を出してくれている、という岡崎市「ささゆりバス」の報告が印象的だった。加藤先生いわく「コミバスはガソリンで走るのではない。情熱と魂で走るのだ。」を実践しているものだった。
- 京福バスからの報告（福井県地域における最近の状況について）

エルパ周辺での２０年６月からの取り組みと福井総合病院移転にともなう取り組みが紹介された。自治体との連携では、坂井市での循環ルートの報告があった。

京福バス側から、公共交通の時刻表に合わせたライフスタイルを確立してほしいという要望があった。この点については、今後の論議が必要と思われる。
- えち鉄計画部長 島 洋氏

とにかく乗客の要望を第一に考えている。コミバスとの連携、結節の充実を図りたい。コミバスには電車と並行する路線にはしないよう要望したい。
- 各有識者から一言ずつアドバイスがあった。

福井大学 川本義海先生のアドバイスは、問題解決型の論議ばかりだと行き詰まることははっきりしている。より発展型、提案型の論議をしてほしい、というものであった。
- 最後に、中部運輸局 藤原部長より

「わたしたちの役割は地域の熱意を形にしていくことです。」との力強い挨拶があり、会議をしめくくった。

【傍聴者 三輪の個人的感想】

各地域でコミバスを支える人たちの熱気を感じられる素晴らしい会議だった。長年勤務した県立学校の現場ではお目にかかれないようなもので、日本にも本当の民主主義が生まれつつあると実感させられた。参加した運営協議会の方々に敬意を表したい。

配布された資料の中の加藤博和先生の論文『地域公共交通を地域で「つくり」「守り」「育てる」ということ』は久しぶりに出会った名文で、国語の授業に使いたいほどの感銘を受けた。

『福井鉄道スタッフ & ROBA 懇談会』開催報告

日 時： 平成 21 年 6 月 14 日（日）10:00～12:00

場 所： 福井鉄道本社 会議室

参加者： 別添名簿を参照

スケジュール： 10:00～10:10 参加者自己紹介
10:10～10:40 福井鉄道の近況報告
10:40～11:00 市民活動を通じて得られた活性化意見
ROBA が考える活性化策
11:00～12:00 質疑応答・意見交換

記

上記の内容で福井鉄道役員及び鉄道部中核社員との懇談会が行なわれました。福井鉄道は村田社長が再生のための新社長として昨年就任いたしました。ROBA との懇談会の申し出にも快く応じていただき実現いたしました。

福井鉄道は本年 2 月「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」の適用を受け「鉄道事業再構築実施計画」の認定、沿線 3 市による再建支援、沿線サポート団体の支援等を支えにして 10 年後の乗客 200 万人をめざしてスタートいたしました。バス事業も兼営しているメリットを活かして、行政・住民との三者一体となった経営を進めていく力強い社長のお話をいただきました。

ROBA としては、これまでいろんな機会でご提案いただいた事項や NPO 事業を展開するなかでいただいた意見の報告の後、参加会員から熱い提案がなされました。それに対して村田社長からはひとつひとつ丁寧な返答を頂き、12:00 終了ですが 30 分も時間延長して終了いたしました。

これから軌道部分の改修や路盤の改修、駅舎の改修や金曜の終電の延長等ダイヤ改正も行なうとのことです。最後に、機会があればまた行ないましょうとの村田社長の言葉も頂いて、参加した ROBA 会員も清々しい気持ちで帰路につけたのではないのでしょうか。

村田社長以下福井鉄道のみなさん、ありがとうございました。

内田桂嗣

福井鉄道スタッフとROBAの会懇談会 出席者名簿

日時:平成21年6月14日(日) 10:00～12:00

場所:福井鉄道本社

作成:NPO法人 ふくい路面電車とまちづくりの会(ROBA)

	No	氏 名	所 属	役 職	備 考
福井鉄道	1	村田治夫		代表取締役社長	
	2	佐々木常雄		専務取締役	
	3	阪下利充	鉄道部	鉄道部副長	
	4	中村和明	鉄道部	運輸管理区長	

	No	氏 名	住 所	ROBA (役職)	職 業
ふくい路面電車とまちづくりの会	1	内田桂嗣	福井市	理事(会長)	自営(保険代理業)
	2	佐藤弘之	福井市	理事(副会長)	会社員
	3	畑 みゆき	鯖江市	理事(副会長)	会社員
	4	清水省吾	福井市	理事(事務局長)	自営
	5	玉井秀和	永平寺町	理事	会社員
	6	塚谷康夫	福井市	理事	自営
	7	岸本雅行	越前市	理事	高校教員
	8	高橋八州太郎	福井市	事務局	会社員
	9	鳥居 健	福井市	運営委員	会社員
	10	松原光也	京都市	運営委員	関西大学 特別任用研究員
	11	大西友世	金沢市	運営委員	会社員
	12	田山 治	福井市	運営委員	仁愛大学 学生



変集長のヒトリ言

森田地区文化委員会の副委員長になってしまいました。

昨年の活躍(?)を考えると必然か! 冗談は私の顔だけにしてくれって?。今年度の森田文化委員会では仁愛短期大学との協働事業で「車に頼らない人にやさしいまちづくり part 2」を行ないます。

ＪＲ森田駅舎内や駅周辺の環境整備と活用 森田地区文化祭(10月)で循環バスによる社会実験
公共交通が利用しやすい環境づくり(京福バス停を中心に)

6月20日(土)には、「ＪＲ森田駅舎内や駅周辺の環境整備と活用」の第1回ワークショップが開かれます。2010年3月には、ＪＲ森田駅舎内でイベントも計画されております。ながらく、練習をさぼっているギターやウクレレの練習を始めねば……。誰も期待してないって?それを言っちゃー。



作 / 漆 寄 耕 次

お世話になりました！

事務局の高橋です。

平成12年7月2日、初めて福井へ来ました。それから約9年間、福井での仕事漬け、ROBA漬けでした。まるでROBAに入るために福井にきたような感じがします。

今般、会社との雇用契約の関係で福井での仕事ができなくなりました。今後は、東京でコンサルタント事務所に入り、再開発計画や都市計画の仕事に従事していきます。

ROBAの活動では、皆様のご協力を頂いて何とか事務局の作業ができたと思っております。常に動いているROBAの運営に曲がりなりにもついてこれたことは嬉しい限りです。また、仕事の上でも福井で2つの大きな再開発事業に関われたことは「男冥利」に尽きます。その意味では熊谷組に感謝です。10年で1プロジェクトできるかできないかと言われていたなかで、2つのプロジェクトに参画できたことは、自分の大きな財産です。

また、NPO活動に参加できたこと、かつ活動できたことは自分の大きな財産です。多分、東京では通勤時間に約1時間40分かかるので今までのようなわけにはいきませんが、東京ROBAの会でも結成して楽しみたいと思います。

長い間、ありがとうございました。本来であればお1人お1人お会いして御礼を言いたいところですが、誌面をお借りしあいさつと代えさせていただきます。

一応、7月初めから東京での生活をスタートさせる予定です。ROBAをやめたわけではないので、又来ますのでそのときは足蹴にしないでコーヒーの一杯でも飲ませてください。

ROBAのますますのご発展とROBA会員のご多幸をお祈りしつつ挨拶をさせていただきます。

高橋 八州太郎

編集後記・・・編集委員より一言

林(変集長)

「ご期待に答え・・・路面ライダーWeb版再登場！」

塚谷(副編集長)

「更迭すべき人を間違っていないですか？麻生さん」

内田(発行責任者)

「千葉市長31歳。すごいね。福井ではムリだね！」

事務局 特定非営利活動法人

ふくい路面電車とまちづくりの会(ROBA)

910-8031

福井市種池1丁目1905-3

TEL: 0776-25-7968

e-mail: roba@mbh.nifty.com

URL: <http://roba.cocolog-nifty.com/roba/home/>